

借りたお金が返せない

友達・親が

ギャンブル依存症かも

彼氏が嘘をついて

ギャンブルばかりする

ギャンブルで

生活費が足りない

親のお金を使ってしまった

生きるのがつらい

ギャンブル依存症に関する相談機関

ギャンブルの問題を抱えている場合



家族や友達のギャンブルで困っている場合



公益社団法人 ギャンブル依存症問題を考える会

依存症から回復した当事者が相談に乗ります。



電話 オンライン 相談会

全国ギャンブル依存症家族の会

全国各地で毎月家族の会を開催。病気の対応を学べます。



電話 家族会 セミナー

▲各地域で当事者会と家族の会を同時開催しています。各地の開催状況はホームページをご参照ください。

> 相談専用ダイヤル

まずはお気軽に
ご相談ください!

☎ 070-4501-9625

制作元



公益社団法人
ギャンブル依存症問題を考える会
The Society Concerned about Gambling Addiction

YouTubeでも情報配信中!

たかりこチャンネル



いま、*Teenager*
10代のあなたが
知っておくべき

ADDICTION

ギャンブル依存症

最近、ニュースでもよく耳にするギャンブル依存症という病気、
実際どんな病気か、あなたは知っていますか?
将来を守るため、絶対に知っておいてほしいのです。

男性100人のうち 約3人がギャンブル 依存症の疑い

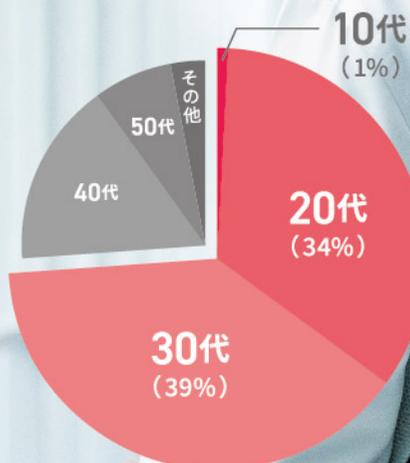
国の調査で男性の約2.8%、女性の約0.5%にギャンブル依存症の疑いがあることが分かっています。ギャンブル依存症によりお金に困って犯罪をおかす高校生のニュースが絶えません。実は皆さんの身近な人がギャンブル依存症かもしれません。

令和5年度依存症に関する調査研究事業
「ギャンブル障害およびギャンブル関連問題実態調査」報告書より

[ギャンブル依存症当事者年代割合]

年代別に見ると
約75%が10~30代

公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会
家族相談アンケート(2024年1~12月集計 n=555)



NEWS

小学生にまで広がる オンラインカジノ

小学6年生の児童がオンラインカジノで親のお金を含む計26万円を使用。

また、オンカジで利用する仮想通貨の交換を行い、常習賭博ほう助の疑いで大学生(19)が逮捕。

若い男性に多い
ギャンブル依存症

やってみよう!

ギャンブル依存症 セルフチェック LOST(ロスト)

最近1年間のギャンブル経験、あなたはいくつ当てはまりますか?

2つ以上当てはまれば、ギャンブル依存症に罹患している可能性があります。

- L** **Limitless**
ギャンブルをするときには予算や時間の制限を決めない、決めても守れない。
- O** **Once again**
ギャンブルに勝ったときに「次のギャンブルに使おう」と考える。
- S** **Secret**
ギャンブルをしたことを誰かに隠す。
- T** **Take money back**
ギャンブルに負けたときにすぐに取り返したいと思う。

LOST 共同研究者

田中 紀子 / 公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会

松本 俊彦 / 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
薬物依存研究部 部長

森田 展彰 / 筑波大学 医学医療系 社会精神保健学 准教授

木村 智和 / 株式会社NTTデータ ITサービス・ペイメント事業本部
ライフデジタル事業部

誰でもなる、 脳の病気です

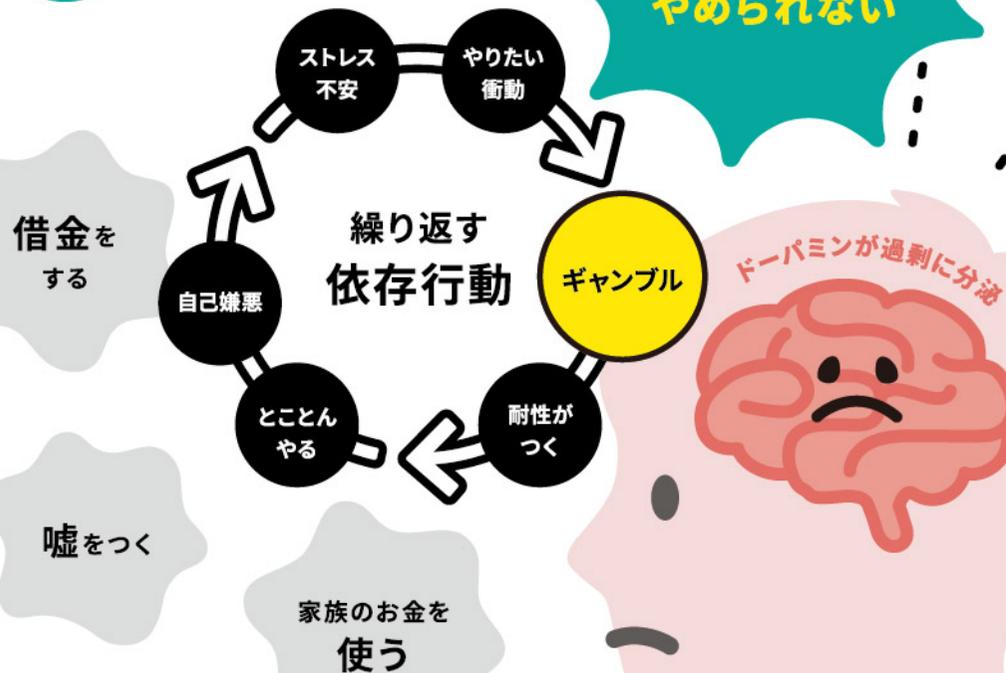
ギャンブル依存症は“脳の制御障がい”

ギャンブル依存症は、ギャンブルへの渴望が、脳の機能障がいにより抑えられなくなる『脳の病気』です。自分や家族の生活を崩壊させます。依存症の危険性を知り、ギャンブルをしないことが一番です。もしギャンブルに対して「まずいな」と感じたら、回復者への相談や自助グループへの参加が、問題の解決法として有効です。



教えてくれたのは・・・
医療法人仁康会 小泉病院 院長
杉江 拓也 医師

やめたい！
でも、
やめられない



意志の弱さ・性格の問題ではありません



家族の体験談

広島県広島市在住／母の立場

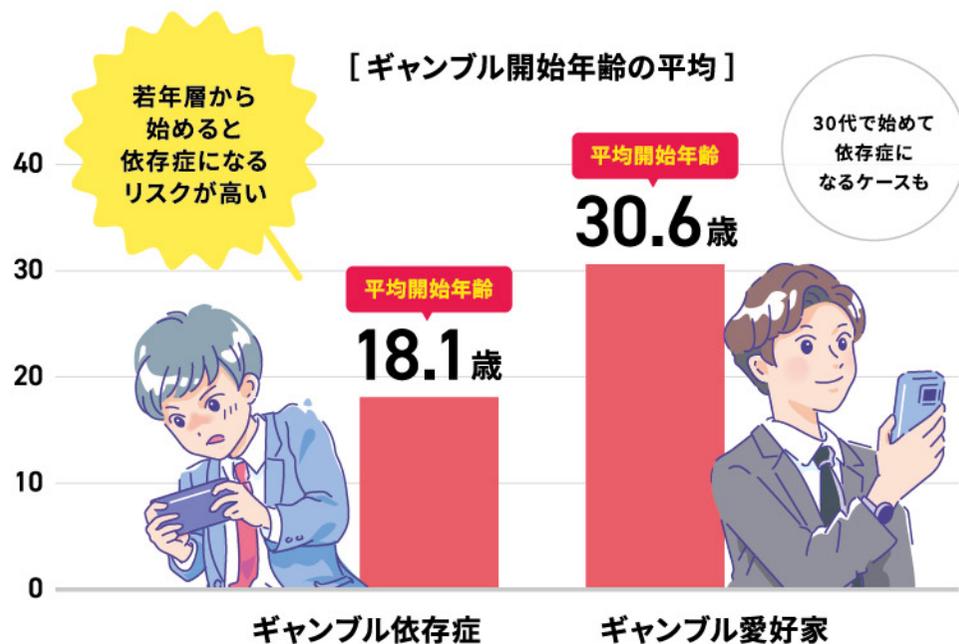
私の長男は明るく、高校時代は部活動にも一生懸命取り組んでいました。しかし、失恋や親友との死別で心が弱っていた時に友人に誘われ、パチンコを始めました。最初は気分転換のつもりでしたが、次第にやめられなくなり、借金をして学業にも影響が出ました。やがて犯罪に手を染めるほど、ギャンブルが止められなくなっていました。私はすぐに全国ギャンブル依存症家族の会に相談。現在息子は、ギャンブル依存症回復施設で治療に専念しています。

若い世代の リスクを知ろう!

10代のあなたにできること

経済的に自立するまでギャンブルはしない

若年期の脳は成長中です。刺激に敏感で、ギャンブルのような不確実で強い刺激にさらされると、将来の依存症リスクが高まることが医学的に認められています。またギャンブル依存症者になるかどうかは、ギャンブル開始年齢が要因の1つであることが調査でも分かっています。



Q. 依存症と愛好家、なにが違うの？

A. ギャンブル依存症と愛好家の違いは、ギャンブル行為により生活に支障が出るかどうかです。ギャンブルをやめたいのにやめられないなど、コントロールできない状態はギャンブル依存症です。

「病的ギャンブラーとギャンブル愛好家とを峻別するものは何か」LINEアプリ・セルフスクリーニングテストを用いた病的ギャンブラーの臨床的特徴に関する研究／田中紀子、松本俊彦、森田展彰、木村智和（日本アルコール・薬物医学会雑誌第53巻6号）

自分を守る行動



学生のうちはやらない



誘われても断る



専門機関に相談する

大切な人を守る行動



周りを誘わない



お金を貸さない



病気を正しく理解する

▶ 周囲の人が正しい対応をすれば、病気の進行を防ぐことができます。

オンラインカジノ、日本では違法です

合法ギャンブルでも依存症になります

ギャンブルは、種別を問わず依存症になるリスクがあります。早朝や夜遅くまで開催している公営ギャンブルや、スマホ一台あればどこでもできてしまうオンラインギャンブルは注意が必要です。

 : オンラインでも出来るギャンブル

遊技		パチンコ	公営ギャンブル		競馬	
					競輪	
					競艇	
					オートレース	
合法		パチスロ				

※日本の法律では、パチンコ・パチスロは18歳以上、公営ギャンブルは20歳以上。

違法

オンラインカジノ 

賭け麻雀

スポーツベット 

闇カジノ

- プレイする人：賭博罪の対象となり、繰り返すとさらに重い常習賭博罪になることも
- 勧めた人：賭博を手伝った賭博ほう助と判断される可能性あり（SNS投稿など）



「儲かる」「稼げる」 広告宣伝の罠!

SNSや配信サイトで「稼げる」「儲かる」という情報が蔓延。18歳未満の皆さんがギャンブルの広告を目にするリスクが増えています。また『お友達紹介でポイント還元』等の過度なポイント付与は、依存症を誘発する可能性があります。

オンラインカジノ「安全」はウソ!

日本国内でオンラインカジノに接続して賭博を行うことや、海外で合法的に運営されているオンラインカジノを日本国内から接続して賭博を行うことは犯罪です。無料版であっても利用は絶対にやめましょう。警察庁の調査によると、10代のオンラインカジノ利用経験者は約17万9000人と推計されています。

正式にライセンスを
取得しています
違法ではありません

無料パズル感覚で遊べます

学生でも

簡単に稼げます

今なら無料でプレイ



公益社団法人 ギャンブル依存症問題を考える会
『当事者支援部』※に聞いてみた

リカバッチしていこう



Sさん
金融会社勤務

種目：競馬
消費金額：2,500万以上



Oさん
エンジニア

種目：パチンコ、競馬
消費金額：3,000万



Rさん
スポーツトレーナー

種目：パチスロ、競馬、オンカジ
消費金額：1,600万

— ギャンブルを始めたきっかけを教えてください。

O：僕は10代の頃、憧れの先輩に誘われてパチンコを始めたのがきっかけでした。そのあと競馬を始めたことで費やすお金が一気に増えた。

R：僕も大学の部活仲間から「皆でゲームしようぜ」の感覚で誘われたことがきっかけ。その後、オンラインカジノで借金が一気に膨れ上がりました。

S：僕は幼少期に見たアニメで競馬を身近に感じていて、18歳で競馬を始めた。

同年代の友人がやっていない大人の遊びをたしなむ自分、かっこいいと思っていました。

まさかギャンブル依存症になるなんて思ってもみなかった。

— ギャンブル依存症になったらどうなりますか？

O：この病気になると、勝った記憶だけ思い出して「もっと勝ちたい」と思うんです。でもデートでご飯代さえ出せなくて、**「苦しい、どうしよう、でもギャンブルで作った借金はギャンブルで取り戻すしかない」と思っていました。**それでも「ギャンブルをやめなければ」と思うまで数年かかった。

R：僕は妻や親の名義のカードでこっそり借金しました。「これで次こそは勝って返すぞ」と必死だった。「出張費用がなくて」とか、家族に何度も嘘をついた。

S：僕の場合、何度も親に借金の肩代わりをしてもらった。でも苦しむ親の姿を見たすぐ後、馬券場にいた。「自分は狂って

る」と思いつつ、病気だとは気づかなかった。意思が弱い、ダメな人間だと自分を責めて、自尊心はズタボロでした。

— そこからどうやってやめられましたか？

O：僕の場合は、まず家族がこの病気の正しい知識を学んでくれた。借金の肩代わりをやめ「借金の相談はここにして」とギャンブル依存症当事者の支援団体の連絡先を渡されました。そこに相談したことが回復のはじまりでしたね。

S：あと自助グループという当事者が集まるミーティングに参加しました。回復している人に会って色々な話を聞いた。相手の名前も知らないのに「この人と一緒かも」と思い、安心して泣いた。

やめ続けている人を見て、もしかしたら、自分もまだやり直せるかもしれないと希望を持ってました。

今日一日、ギャンブルをやらない日々を積み重ねていっている。

安心して正直に「ギャンブルをやりたい、怖い」って話せる場所です。

R：他の方法では、ギャンブル依存症の回復施設に入所したり、病院に入院したりするところがあるけど、どれもやめ続けている当事者に会って、ミーティングに参加することが大事だと思いますね。

— 今の高校生たちに、なにか伝えたいことはありますか？

S：**ギャンブルは、非常に刺激が強いもの。学生の間はギャンブルをやらないことが、自分の将来を守ることに繋がると思います。**

O：**万が一ギャンブルで借金をしたり、嘘で周りの人を傷つけてしまった場合は、早めに相談してほしい。**

R：**僕たち当事者支援部に相談してもらえれば、回復の道筋を一緒に考えます。**

— いま支援する側になって、注意が必要だと思うギャンブルはなんですか？

S：今は違法のオンラインカジノより、**合法の公営ギャンブルの相談が急増中。**

有名人を起用して大々的に広告をしている。オンラインで気軽に何処でも賭けられるし、朝早くから夜遅くまで日常生活の中で簡単に賭けられる。

R：新規会員登録でポイントが貰えるなど、過度なポイント付与はギャンブル依存症を誘発する可能性があるよね。

O：しかも今はクレジットカードを使って賭けられるから、手元にお金がなくても出来ちゃう。「ギャンブルは稼げる」「儲かる」という情報がSNSで蔓延して、中高生でも手を出してる状況だから、若年化もかなり深刻。

実際に親のクレジットカードを使って借金を作った高校生の相談も増えている。

大学生では、奨学金を使い込んでしまうケースも多いです。

